



FERRIS
UNIVERSITY



フェリス女学院大学 同窓会会報

Ferris University Alumni Association : Littera and Fgroup



カリヨンベル (緑園)



フェリスホール (山手)



学生食堂アンデレ (緑園)



渡り廊下のステンドグラス (緑園)

PICK UP //

- 新学部、入試案内…………… P4
- 新同窓会案内…………… P7
- Fグループ…………… P10
- りてら…………… P14

何事にも時があり天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

コヘレトの言葉 3章 1節

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

ヨハネによる福音書 1章 1節

幸福論



理事長 亀 忠正
きと ただまさ

2025年4月1日、新設のフェリス女学院大学グローバル教養学部の入学式が、カイパー記念講堂で行われました。午前に心理コミュニケーション学科、午後に国際社会学科と文化表現学科に分かれて行われましたが、新入生471名に加えて多くの保護者・保証人も参加されて、温かく充実した入学式でした。私も参列の機会を頂きましたが、小檜山学長の改革への力強いメッセージを込めた式辞、秋岡学院長の心の籠もった励ましの祝辞は、心を打つものがありました。私は改めて、入学式が礼拝として行われている事に意義があると痛感しました。

殆どの学生がキリスト教とは無縁の環境で育ってきた事を思うと、聖書の御言葉、讃美歌、祈りとの出会いが入学式であった事には深い意味があるのです。

フェリス女学院大学では、学生一人一人が輝いて将来、社会で活躍出来るよう、グローバル教養教育を充実させて、学びの多くの舞台、機会を提供しようと考えています。しかし私達が最も願っている事は、学生一人一人が、社会に出て一生涯仕合わせな人生を送って欲しい事であり、大学が学生にとって将来何が幸福なのかを考える手立てを提供したい事です。

ではその幸福とは何か。旧制第一高等学校の教授であった三谷隆正は幸福について次のように述べています。

「良き健康と清純な家庭と一生を投じて悔い無き職場と、この三つを併せ持つことは大なる幸福である。然しそれにもまして大なる幸福は新しき命の源に国会うて、新しく造りかえられることである。この新生わが衷に成る時、健康も家庭も職場も凡てが新しく生き返ってくる。瀕死の健康さえ生き返る。この新しき命さえ与えられるならば、健康を失っても、家庭が無くとも、職場さえ奪い取られても、我らは生氣と喜びとに溢れたぎつことが出来る。」新しき

命の源、即ち主イエス・キリストに出会って、新しく造り変えられることこそ大なる幸福だと言っているのです。

私は忘れてはいけないもう一つの大なる幸福があります。それはフェリス女学院の教育理念である「For Others」です。自分が輝いて幸福になるだけでなく、他者を輝かせる幸福もあるのです。入学式が礼拝形式で行われる意味は深いのです。



みめぐみゆたけき 主の手にひかれて

同窓会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃よりあたたかいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、大学では、今年度入学した新入生から、文学部・音楽学部・国際交流学部を統合した「グローバル教養学部」の一学部制になりました。新入生たちは全員がこの学部の学生として学びを始めており、卒業後の同窓会活動においても、新しい形が求められていくことになると思われます。

フェリスにおける高等教育は、戦後、専門学校、短期大学、大学文学部、そして大学新学部への発展改組と、社会や時代の変化に応じてつねに姿を変えてきました。しかし、どのような時代、どのような形であっても、卒業生は皆フェリスの同窓生であり、その絆は変わりません。「For Others」の理念のもと、ひとつの同窓会にむけて力を合わせ、共に歩んでいければと願っております。

今年、フェリス女学院は創立 155 周年を迎えました。伝統とは、過去を守るだけでなく、未来を拓く翼でもあります。信仰に根ざした教育の伝統を誇りとし、これからも果敢に改革に挑むフェリスでありたいと存じます。



学院長 あきおか よう
秋岡 陽

「みめぐみゆたけき 主の手にひかれて」——主の導きに信頼しつつ、次の世代へとバトンをつないでまいりましょう。フェリスの宝である卒業生の皆さまの上に、主の豊かな祝福がありますよう、お祈り申し上げます。



大好評販売中！
自宅で音楽学を愉しむ
新しいヒントやトピック満載！

発売日：2024 年 8 月 24 日
著者／編集：秋岡 陽（著）
出版社：株式会社音楽之友社

自分らしく輝くことが、 誰かの力になる

昨年 12 月、大学は「リブランディング・プロジェクト」を開始しました。教職員 10 名のプロジェクト・メンバーを作り、Takram（タクラム）というコンサルタント会社の活用を理事長にお認めいただき、神谷常務理事に担当理事になっていただき、本学の特徴・強みを探し始めました。プロジェクト・メンバーは、毎週オンラインで集まり、約 5 ヶ月にわたって、Takram の調査とリードのもと、議論を重ねました。4 月末、私たちの結論を発表しました。今後はその浸透を目指し、毎月学内勉強会を開き、ブランド強化の施策を案出してまいります。

フェリスの強みの核心——「ブランドコア」——をひねり出す作業はかなり困難なものでした。今までどおりにやるのが「フェリスらしさ」だと開き直っては、生き残れません。他の女子大と比較すると、語学、国際、キャリアなど、フェリスの強みとされてきたものの多くは、ほとんどの女子大で主張され、高いレベルで実行されていました。他校との微妙な差異は、同質性の中に隠れています。引っ張り出して、強化していくことが必要だということを、私はこのプロジェクトを通じて学びました。

上で掲げた「自分らしく輝くことが、誰かの力になる」は、ブランドコアを要約する言葉です。フェリスは、失敗する自



学長 こひやま ルイ
小檜山 ルイ

由のある、開かれた学びの空間です。

そこでの試行錯誤の経験から、学生は、自分らしく輝ける舞台を見つけ、表現のよろこびを育み、その輝きを他者のためにも活かせる女性として成長していきます。こうしたメッセージをこの言葉に込めました。ぜひ覚えて、使っていただければと思います。



4 月 14 日、横浜国立大学での生理疑似体験イベントで、梅原学長、工学部の先生方と。連携協定のもと、フェリスのジェンダー・スタディズ・センター（GEM）が協力した。

これからの世界を生き抜く力をそだてる

2025年度から、大学はこれまでの3学部5学科から、1学部3学科9専攻とこれに4つの副専攻を加えた体制に移行しました。この変更は、変わりゆく未来に対応する学びを機動的に、そして柔軟に提供するためのものです。

文化表現学科

欧米・アジア・日本の文学、音楽、舞台芸術、映画などにおける表現や、その背後にある社会と思想について、また創作とビジネスの関係について分析します。映像やサウンドデザインなど、創造・発信方法も修得できます。

ヨーロッパ・アメリカ専攻

欧米の文学、芸術、歴史を通して文化の多様性を学び、グローバルな視野を持って国際文化の交流に貢献するスキルを身につけます。

日本・アジア専攻

日本の言葉の歴史を知り、文学・音楽・アニメなどを社会的視点から分析します。また、中国・韓国の文化や日中・日韓の文化交流について理解します。興味ある題材を探究し、高度な読解力と表現力を修得します。

音楽・身体表現専攻

クラシックからポップーまでの音楽、作・編曲、演奏や、世界のダンス、サウンドデザインやコンテンツ制作などを実践的に学び、ビジネス知識も得ることで創作・表現活動を可能にする力を身につけます。



副専攻

副専攻は、どの学科・専攻でも選択できます。もうひとつの専門と言えるレベルまで体系的に学び、実践的スキルの獲得を目指します。

ジェンダーとキャリア

ジェンダーの観点から社会課題を理解し、キャリアプランを具体化させます。

データサイエンス

社会課題を解決するデータ分析力を身につけます。

デザインと表現

デザインの役割を学び、効果的な情報発信に活かします。

音楽

表現の技術を磨き、人が集まる場をつくる力を身につけます。

卒業生子女等入試

玄孫、甥姪の子までチャンスがあります

卒業生の皆様の4親等以内の方（2026年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みであり、その他出願条件を満たす女子）が対象で、書類審査とグループ面接（対面）で合否を判定します。
出願条件は専願、全体の学習成績の状況3.0以上、学校長の推薦書等。ぜひ次の世代にフェリスをつないでください。

【実施日程】

入試実施日：2025年11月22日（土）

出願期間：2025年11月1日（土）～2025年11月7日（金）

合格発表日：2025年12月1日（月）

※ 詳細につきましては大学公式サイトにて公開中です。

【お問い合わせ】入試課（045-812-9183 / univ-nys@ferris.ac.jp）



2025年4月

グローバル教養学部 スタート

Faculty of Global Liberal Arts

大学は 1 学部 3 学科体制へ

1 年次 / 2 年次は学科共通で基礎となる幅広い分野を学び、3 年次から専攻で専門領域を探究します
専攻では、1 人ひとりの関心に従い、社会で生きるスキルと知識の獲得を目指しますが、そのためには幅広い視野と知識が
欠かせません。1・2 年次には副専攻に加え 300 近い全学共通科目から自由に豊かな学びを得ることができます。大学の
これからの学びにご期待ください。

国際社会学科

格差、紛争、人権、環境問題などのグローバルな課題への理解を深め、知識を行動につなげる力を身に付けます。国際的なビジネス感覚を持ち、持続可能な国際社会に貢献します。

国際関係専攻

開発援助、世界で起きている人権問題、紛争解決のための政策、グローバル化が社会構造に与えた影響、女性と政治、多文化主義、持続可能な発展などの課題を理論と実践で学びます。

地球社会・環境専攻

環境経済学、アジアの経済成長、開発と環境の関係、法律と企業活動などを学び、海外現地実習では環境保護の最前線に触れ、改善の政策や方法を分析できるようになります。

国際ビジネス・観光専攻

国際経済、金融政策、経営、日本企業の成長戦略、マーケティング、ツーリズム、地域経済の理論と課題を学びます。観光を通じた地域創生の現場実習では、実務レベルの基礎的なスキルを身に付けることができます。

心理コミュニケーション学科

心理学・社会学・メディア論・多文化共生・ジェンダーの視点から、多様な文化的背景、価値観を持つ人々との共生社会を実現するための実践的な方法論や資格を修得することができます。

心理専攻

心理学、言語学、社会学など複数分野で人の行動の背景・心の問題や、心理学と結びついた言語（異文化）コミュニケーションを学びます。心理学関連の資格取得（認定心理士 / 公認心理師の学部科目）が可能です。

メディア専攻

人と人をつなぐ役割を担う、多様なメディアを活用した「心」の伝え方を学びます。コンテンツ、アプリケーション、コンピュータ音楽制作、映画研究、調査、取材、出版、編集デザイン、分析のスキル修得が可能です。

共生コミュニケーション専攻

国際社会学、ジェンダー論、多文化共生論、日本語教育学などの理論とフィールドワークにより、多文化・多言語社会をコーディネートするスキル、コミュニティ通訳として現場で活躍するためのスキルを修得できます。



グローバル教養学部

にはどんな科目があるの？

一学部制では学部の壁をなくし、ひとつの学部で運営することで、学びが大きく広がると考えています。私の担当授業は、「アメリカ史入門」「現代アメリカ政治思想」「グローバル・ヒストリー」「アメリカ史研究」等ですが、CLAの「市民活動の役割と意義」（オムニバス）も持っています。3学科9専攻で魅力的な授業が展開されていますので一部を紹介します！

新学部長
梅崎 透 教授



国際社会学科

国際関係専攻

高柳 彰夫 教授

2002年から、
国際交流学部国際交流学科

授業名：国際開発論

国連持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえつつ、貧困削減・教育・保健・ジェンダー平等などの世界の開発課題と、国際的な開発協力のあり方について考察します。



国際社会学科

地球社会・環境専攻

荒井 真 教授

1997年から、
国際交流学部国際交流学科

授業名：比較法

地球環境・人間環境問題の解決に司法は大きな役割を果たしてきました。この授業では、各国の司法制度を比較して、その異同を明らかにしつつ、いかなる司法システムが最善かを学生とともに考えています。



国際社会学科

国際ビジネス・観光専攻

上原 良子 教授

2003年から、
国際交流学部国際交流学科

授業名：ヨーロッパの地域開発と観光

世界で最も観光客を集めるヨーロッパ。ホテルから代理店までその裾野は幅広く、もはや主要産業の一つです。なぜ長期のヴァカンスが可能なのか、新しい観光のトレンドとは何か。地域の活性化とあわせて考察します。



心理コミュニケーション学科

心理専攻

潮村 公弘 教授

2010年から、
文学部コミュニケーション学科

授業名：心理データ分析（1）

推測統計学の基礎を学びながら、データ分析の実践までをマスターする授業です。「認定心理士」等の資格の履修要件にもなっていることから、欠席者はほぼ皆無、授業ごとの課題レポートもほぼ全員が提出、という理想的な環境で進めています。



心理コミュニケーション学科

メディア専攻

谷口 昭弘 教授

2012年から、
音楽学部音楽芸術学科

授業名：音楽社会学

身の回りに溢れる音や音楽に着目し、音楽の起源、コンサートや聴衆の歴史の変遷、様々なメディアの音楽への影響、ジェンダーと音楽、音環境の問題など、人間社会における音楽のあり方について考える授業です。



心理コミュニケーション学科

共生コミュニケーション専攻

中川 正紀 教授

1998年から、
文学部英語英米文学科

授業名：比較共生社会論

1980年代に政府側を米国が支援する本国内戦を逃れて渡米したものの「政治難民」に認定されなかったエルサルバドル系避難民への聞き取り調査記録を用い、民間レベルの移民支援について日本の今後を見据えつつ考えます。



文化表現学科

ヨーロッパ・アメリカ専攻

由井 哲哉 教授

2009年から、
文学部英語英米文学科

授業名：イギリス演劇

シェイクスピア作品は人間の様々な感情や葛藤を描く文学であると同時に演劇というパフォーマンスの芸術でもあります。今回は『オセロー』の魅力を劇場の構造や台詞の韻律なども含めて解説しています。



文化表現学科

日本・アジア専攻

勝田 耕起 教授

2004年から、
文学部日本語日本文学科

授業名：日本語学概論

国語教職、日本語教員養成の両方に関わるので講義内容の体系性は担保しつつ、教材にはマンガ・動画・TV・広告等で見つけた話し言葉、俗語、敬語などをも使って、日常の中に学問があるという話をしています。



文化表現学科

音楽・身体表現専攻

土屋 広次郎 教授

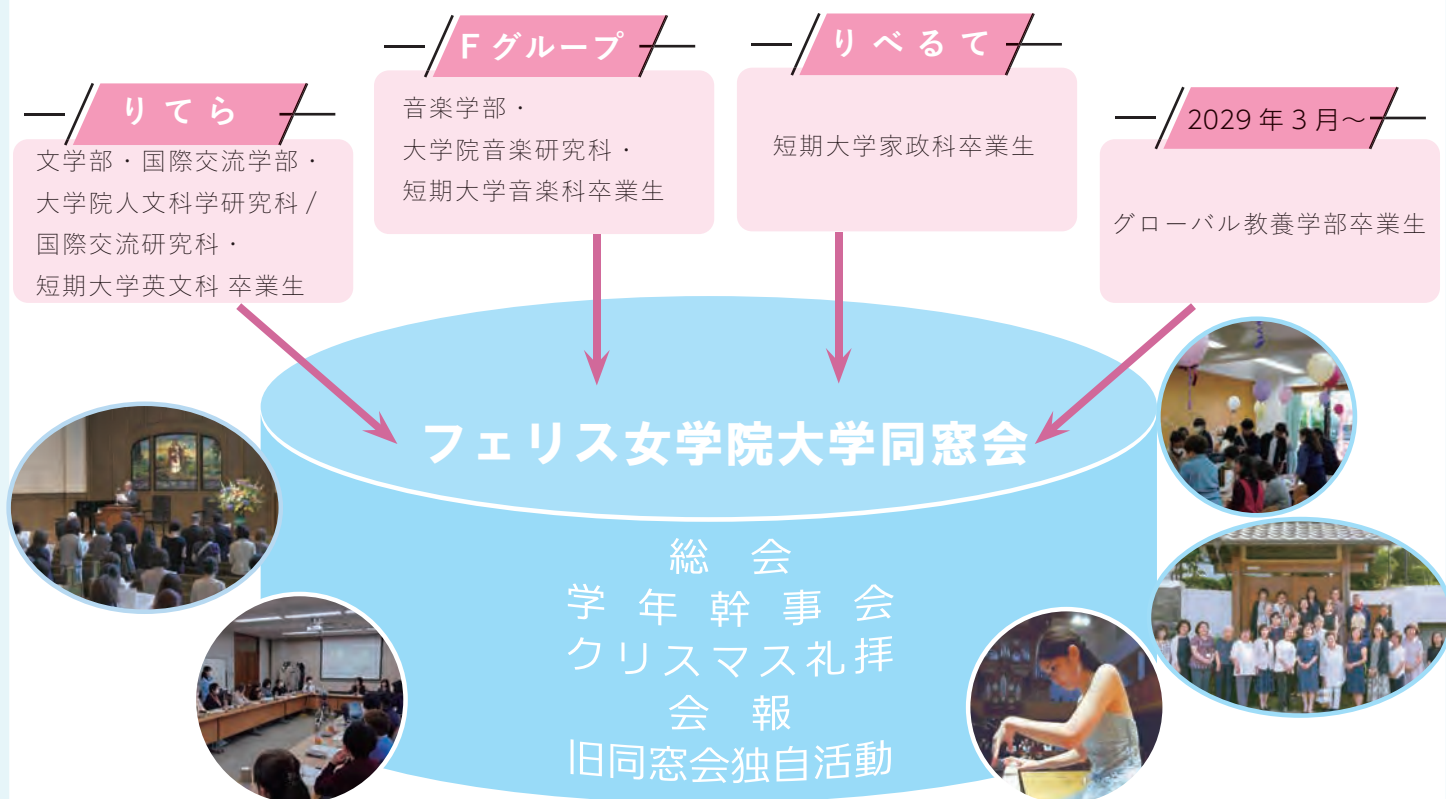
2005年から、
音楽学部音楽芸術学科

授業名：欧米音楽入門 3

この授業は従来でいう合唱にあたりません。音楽身体専攻では音楽や舞踊科目を中心に学び、従来同様にPA（実技）レッスンにて演奏技術を磨くことができます。また、音楽のみにとどまることなく広く社会で活躍できる「輝きある」人材を育成します。

これからの同窓会は？

—同窓会はひとつとなります—



Q 今までの同窓会はなくなってしまうのですか？

A 出身学部ごとに活動してきた3つの同窓会「りてら」「Fグループ」「りべるて」は学部の壁を取り払い、ひとつとなって「フェリス女学院大学同窓会」（仮称^{*1}）に生まれ変わります。（^{*1} 今後、新名称を公募する予定です。）

Q グローバル教養学部の学生は卒業するとどの同窓会に所属するのでしょうか？

A グローバル教養学部の卒業生は新しいかたちに生まれ変わった同窓会の会員になります。

Q 「りてら」「Fグループ」「りべるて」現会員はどうなるのでしょうか？

A 現会員はそのまま新しい同窓会の会員になることが、同窓会の新しい会則でしっかりと保障されています。

Q 新しい同窓会ではどのような活動をするのでしょうか？

A これまで行ってきた総会、学年幹事会、クリスマス礼拝、会報発行ほか、演奏会や講習会等、各同窓会の伝統・特色ある企画に取り組み、さらに新しい同窓会としての在り方を模索しながら活動していきます。

Q 新しい同窓会はいつから始まるのでしょうか？

A 2026年4月1日より、新しい同窓会の会則をもって活動を始めます。

フェリス女学院大学 同窓会総会

りべるて・Fグループ・りてらの3つの大学同窓会がつどう合同総会。カイパー記念講堂において礼拝形式で執り行われます。Fグループの演奏もお愉しみのひとつです。讃美歌や校歌をともに歌い、なつかしい学生時代に思いを馳せませんか。山手の丘でみなさまのお越しをお待ちしております。

梅雨空の下、元町公園の紫陽花を愛でながら、カイパー記念講堂に向かわれた同窓生の方も多かったことと思います。開式に先立ち、昨年の10月21日にご逝去された元学長の佐竹明先生に黙祷を捧げました。大学開学60周年を迎えた2025年の礼拝は元学長・文学部名誉教授の宮坂寛先生に、奏楽はFグループ（音楽学部同窓会）の清水桃子さんをお願いいたしました。聖書朗読は、コヘレトの言葉3章1〜11節とヨハネによる福音書1章1〜14節。そして『ことば、ひとすじの路』というタイトルで説教が始まりました。

「ある日、手にとった絵本『なまえのな いねこ』によって、愛に裏打ちされたことばとの出会い、その時宜にかなった出会いと時を教えられました。ひとすじの路は歩いてきた足跡、用意された人生、生き方など置き換えられます。生きたことばの喪失により、ひとすじの路における断続、分断、亀裂に何も感じなくなる時が来るかも

しれません。ことばとは他者との共存のツールです。生きたことばとの出会いと集積がひとすじの路を持続可能にします。生きたことばには、他者への愛があります。」このように語られました。

続いて大学同窓会を代表して、山縣幸子りてら会長から感謝の言葉が贈られ、今年度の総会が始まりました。3つの同窓会（りべるて・Fグループ・りてら）はひとつの同窓会「フェリス女学院大学同窓会（仮称）」として来春から活動していくと報告がありました。亀徳忠正理事長からは、私立学校法の改正に伴い、フェリス女学院の寄附行為が改正されたとお話ございました。

「これにより、同窓会選出の理事はなくなり、大学同窓会の評議員の数も5名から2名に減ったが、今後も同窓会を大切にしたい思いは変わらない」とおっしゃいました。続いて、秋岡陽学院長は、元々、フェリス女学院はひとつであったこと、そこから専門科・短大・四年制大学と派生して



フェリス女学院大学同窓会総会式次第 2025年6月14日（土）13時 於 カイパー記念講堂	
開会の辞	司会 藤田 玲子
礼拝	司式・説教 宮坂 寛先生（元学長・文学部名誉教授） 奏楽 清水 桃子
前奏 讃美歌 聖書 説教 讃美歌 後奏	J. S. バッハ：Liebster Jesu, wir sind hier BWV 731 458番「信仰こそ旅路を」 コヘレトの言葉 3章1〜11節 ヨハネによる福音書 1章1〜14節 ことば、ひとすじの路 532番「やすかれ、わがこころよ」 J. E. キンダーマン：グロリア ト長調
総会 ご挨拶 来賓ご挨拶	大学同窓会代表りてら会長 山縣 幸子 理事長 亀徳 忠正 学院長 秋岡 陽 大学長 小檜山 ルイ
来賓ご紹介	
音楽学部演奏	F. リスト：バラード第2番 短調 S. 171 ピアノ 栗田 麻子
校歌	ピアノ 細貝 文子 オルガン 清水 桃子
閉会の辞	



いったこと、さらに今の3学部が発展改組してグローバル教養学部になったことについて説明をされました。小檜山ルイ学長からは、昨年の12月からリブランディング・プロジェクトがスタートしたとご報告をいただきました。ブランドコアを要約する言葉は「自分らしく輝くことが、誰かの力になる」。力強いメッセージは心に響きました。また、数々の高大連携協定や明治学院大学・横浜国立大学との相互協力・連携協定が締結されたとお話されました。

その後、音楽学部卒業生の栗田麻子さんによるピアノ演奏が行われ、その圧巻の音色に会場中が魅了されました。最後に、細貝文子さんのピアノと清水桃子さんのオルガンの伴奏で心をひとつに校歌を歌い、今年度の総会は閉会となりました。

Fグループの集い

今年もフェリスホールにて、87名の参加者とともにFグループの集いを開催いたしました。祈禱に続き、Fグループ会長交代式を行い、永川恵子前会長、原田かおり新会長それぞれに挨拶をいただきました。そして、谷口昭弘音楽学部長による新学部の紹介では、全学科の学生が音楽を学ぶことができる本学独自の様子を伺いました。その後、数々のミュージカルにご出演の綿引さやかさん(58回)を迎え、お話とミュージカルレパートリーの演奏に耳を傾けました。素晴らしいパフォーマンスは会場全体を優しく包み、私たちは至福の時を過ごすことができました。また小児病棟での活動について意欲的に語る姿も新鮮でした。同席された小檜山ルイ学長から感想も頂戴いたしました。



ロビーでは、Fグループグッズのクリアファイル、岡崎光子さん(11回)作の可愛らしい絵葉書を販売。その売上はフェリスホール照明音響設備改修のための寄付となります。お気持ちを寄せていただいた多くの皆さまに感謝いたします。最後にウクライナ留学生支援募金をお願いや、Fグループ主催、各演奏会等案内をさせていただき、和やかに閉会いたしました。来年も皆様との再会を心より願っています。

(三上 まり子 33回)



りてら同窓生のつどい

総会終了後、150周年記念館地下一階講堂にて、りてら同窓生のつどいを開催いたしました。当初4階ホワイエでの開催を予定しておりましたが、嬉しいことに参加の方が72名となり、急遽大教室の地下の講堂に会場が変更となりました。小檜山学長、杉之原副学長、グローバル教養学部長梅崎先生、文学部長高田先生、国際交流学部長上原先生、大谷大学事務部長をお招きし、新学部のお話を伺いながら和やかな会がスタートいたしました。また卒業生には懐かしい元学長・文学部名誉教授の宮坂先生にもご出席いただくことができました。



お話の後恒例のビンゴ大会が行われ、賞品としてお披露目されたフェリスグッズの新商品に注目が集まりました。ビンゴを達成した同窓生の一言からもつどいの楽しさが感じられ、同窓会の役割を再認識いたしました。つどい終了後のグッズの販売では、ビンゴの賞品としても登場した新商品の数々が人気の的となりました。今回も同窓会の行事にご参加くださった同窓生の皆さま、そして、お手伝いいただきましたサポーターの皆さまに心より感謝申し上げます。また来年も山手の丘でより多くの同窓生の皆さまにお目にかかれることを願っております。

(貴田 里砂 1987E)



2024年度 学位授与式

春うららかな日差しのもと、3月20・21日の2日間にわたり文学部237名、国際交流学部182名、音楽学部75名、大学院研究科9名、合わせて503名の学位授与式が山手のカイパー記念講堂にて行われました。コロナ禍により学習活動がままならずにいた時も、学生たちはしなやかに学びの歩みを進め、この日、ひとりひとり晴れやかな顔で学位記を手に入れました。

その門出を祝福し、金子和恵りべるて会長より同窓会を代表してお祝いの言葉が贈られました。また、式典会場の一角に設けられたりてらによるフェリスグッズのブースでは、ご卒業記念商品『卒業くまちゃん』(数量限定)等が販売され、卒業生や保護者の皆様に、フェリスで学び過ごした思い出のひとつとしてお手に取っていただきました。

ご卒業の皆様の歩まれる道に喜びが満ち、幸多からんことを同窓会一同お祈り申し上げます。



2025年4月に入学した1年生はグローバル教養学部の中で音楽を学んでいます。新しい学部組織では音楽の看板が表立っていないように見えるのですが、学内の教員の意識は全く変わっていません。「音楽の学び」がフェリスを特別な存在にしていることも全学的に共



音楽学部長
たにぐち あきひろ
谷口 昭弘

専門分野は、音楽ジャーナリズム、西洋音楽史、アメリカ音楽、音楽雑誌、ウェブメディア等に執筆多数。

次世代へつなぐ音楽学部の伝統

有されてます。そのことを象徴するのがPA科目が全学教養教育機構(CLA)の組織下に入ったということでしょう。いまやPA科目は全学生に対して門戸を開き、受験生向けの大学案内パンフレットにおいてもPAは最初の方に紹介されています。フェリスにおいて音楽を学ぶ裾野はかつてないほどに広がっています。2025年度からは「音楽」がCLAの副専攻に登場します。「理論歴史系」「演奏・創作系」「ビジネス・マネジメント系」という3つのカテゴリーから多様な音楽の学びが可能となり、これも、すべての学生に開かれています。

旧来の音楽芸術学科のカリキュラムを直接引き継ぐのは文化表現学科の「音楽身体表現専攻」です。学科名・専攻名が指し示す通り、人間社会や文化と結びついている音楽を、トータルに捉えます。音楽の学びは音楽のみで完結することはありません。むしろ文学や演劇、歴史や社会のあり方を学ぶことによって演奏表現にも深みが出てきます。「音楽」の学びの一部は心理コミュニケーション学科の「メディア専攻」でも行われます。こちらも音楽と映画、マルチメディア、ゲームやアニメなどとの関わり合いを学びます。音楽学部の伝統は新たな時代へ、形を変えて続いていくのです。

日頃よりFグループの活動にお心を寄せ、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。4月に開催されました学年幹事会においてご信任をいただき、会長の任を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。大学では学部がグローバル教養学部



会長
はらだ 原田 かおり (30回)

1979年 短大音楽科ピアノ専攻卒業
1980年 同専攻科修了

Fグループの皆様

一学部となる大改革が行われ、これに伴い三つの同窓会(りてら・りべるて・Fグループ)も大学同窓会として一つとなるために準備を進めてまいりました。学年幹事会にて新同窓会会則が承認され、2026年度より施行の予定です。

5月には音楽学部のご協力を得て「山手の丘メモリーコンサート/宗施月子先生を偲んで」を開催いたしました。昨年に召されました宗施月子先生を憶え、「ゆかりの先生と卒業生によるお話と演奏」に来場者は心を一つに聴き入り、フェリスで培われた音楽を堪能するひと時となりました。昨年

度開催いたしましたジョイントコンサート、山手の丘の音楽会、リユニオン・コンサート、リユニオン・レッスン(ヴィオラ・ダ・ガンバ/オルガン)は今年度も引き続き開催予定です。また、フェリスホール改修のための募金コンサートも計画しております。今春お迎えいたしました82名の新会員の皆様と一緒に、ますます活発な音楽活動を展開し、学内外にフェリスの音楽を発信し続け、そのことがフェリス女学院の教育理念である「For Others」の実践、ひいては社会貢献に繋がりますようにと、夢は広がります。今後ともFグループの活動に積極的にご参加いただきお支えくださいますように、どうぞよろしくお願い申し上げます。

フェリスホールのための募金コンサート

2026年3月28日(土) 14:00開演 フェリスホール

【出演】ピアノ：伊藤慧・漆間有紀・黒川知栄子・小林周子
ソプラノ：齊藤京子・海野美栄/オルガン：三浦はつみ
弦楽：Fグループアンサンブル ほか

【チケット】一般3,000円 寄付つき5,000円



《ご寄付のおねがい》

コンサートに併せてご寄付を一口2,000円にて(何口でも)募ります

ゆうちょ銀行から 記号：00280-3 番号：75184 Fグループ
ゆうちょ銀行以外から 店名：〇二九(ゼロニキュウ) 店番：029
当座 口座番号 0075184 Fグループ

フェリスホールは1989年に竣工されて以来、礼拝、音楽ホールそして授業のために日々用いられています。36年を経て、最近では照明や音響の不具合が出てきました。ホールのために何かできないかという同窓生の熱き祈りがひとつとなり「募金コンサート」を開催する運びとなりました。皆さまからのご厚情は、ホール照明音響改修基金として学院へ寄付いたします。卒業生の皆さまのご支援、心よりお願い申し上げます。

Soli Deo Gloria

ただ神にのみ栄光あれ

支部だより

北支部

支部長 大澤 あすか (45回)
 昨年6月に盛岡でコンサートを開催致しました。北海道・仙台・横浜(仙台出身)から演奏者と、秋田から同級生がサポートに来て下さり、無事に終えることができました。メアリー・E・キダー宣教師が拓かれた日本キリスト教団下ノ橋教会の松浦牧師と教会員の皆様のお支えもあり、県外からも多彩なお客様にお越し頂きました。
 今年度は活動をお休みしますが、翌年以降の更なる発展のため、演奏者と検討していきたいと思えます。



中部支部

支部長 二村 里江 (43回)
 昨年11月22日、秋岡先生をお招きし、中部支部の懇親会を開催いたしました。秋岡先生から現在とこれからの学校の様子をお話いただきました。

31名の方が出席下さり、思い出話は尽きることがなく、楽しい時間はあっという間でした。

今年は11月28日に、電気文化会館にてジョイントコンサートを行います。中部で人気の落合先生をお招きし、楽しいコンサートになる事と思います。



関西支部

支部長 桐山 恵子 (33回)
 本年4月12日、6年ぶりに大阪にて支部総会を開催いたしました。
 母校が大きく変容しているなか、秋岡学院長にお越しいただき、現状や今後の展望などをお伺いすることができました。大学の形は変わっても同窓生との温かな交流は続いていくことを感じるひと時でした。また、この度、支部長を中川智津子に交代することとなりました。今後ともよろしく願ひいたします。



九州・山口支部

支部長 野見山 夕希子 (34回)
 昨年9月7日に九州キリスト教会館で黒川先生、土屋先生をお招きしてコンサートを行いました。福岡を中心に活躍している卒業生数名、ピアノとヴァイオリンで参加いたしました。今回はこれまでと違う会場でしたが、サロンコンサート風でお客様との距離が近く、温かい雰囲気が出で、好評でした。

今年から支部長としてお仲間に加えて頂きました野見山です。皆様と学校の橋渡しができますよう努力してまいります。よろしくお願ひいたします。



Fグループ 2024年度収支報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

<収入の部>		(単位: 円)
項 目	決 算 額	
終身会費	3,980,000	
ジョイント会費	241,900	
企画発表会費	487,766	
合同発表会費	899,000	
宛名シズ付	1,400	
グッズ販売	147,800	
寄附収入	532,469	
雑収入	134,791	
収入小計	6,425,126	
前年度繰越金	3,868,721	
収入の部合計	10,293,847	

<支出の部>		(単位:円)
項 目	決 算 額	
(1) 運 営 費	1,593,774	
会 議 費	34,019	
印 刷 費	8,168	
通 信 費	128,551	
人 件 費	919,917	
交 際 費	40,239	
事 務・消 耗 品 費	51,083	
備 品 費	22,000	
交 通 費	330,076	
学 年 幹 事 会 費	50,131	
雑 費	9,590	
(2) 活 動 費	2,541,435	
総 会 関 係 費	463,948	
企 画 関 係 費	414,587	
会 報 関 係 費	766,274	
ジョイント関係費	101,834	
リサイクル関係費	30,250	
支 部 関 係 費	385,656	
慶 弔 関 係 費	80,974	
合 同 発 表 会 関 係 費	297,912	
(3) 諸 会 費	350,000	
連 絡 会 維 持 費	50,000	
維 持 協 力 会 費	300,000	
支 出 合 計	4,485,209	
剰 余 金	5,808,638	
支 出 の 部 合 計	10,293,847	

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました
 2025年4月3日
 Fグループ会計監査 小林 周子 堀内 陽子

学年幹事会報告

2025年4月17日(木) 山手606室(講堂)
 出席者: 34名、委任状: 63名、陪席: 7名

承認事項: 2024年度収支報告・監査報告、活動報告、2025年度活動計画。
 2025年度予算、新役員、今後の同窓会と新会則。
 熊澤 亜里紗 (57回)

【寄付の報告】
 学院および維持協力会へ寄付いたしました。

- ① 343,000円
 (フェリスホール設備改修費用として。
 メモリスコンサート来場者の募金143,000円を含む)
- ② 100,000円 (教育・施設として)
- ③ 54,000円 (ウクライナ学生のため)

Fグループへご寄付いただきました。

- ★30回コーラスグループより24,269円
- ★越智英子さん(4回)、松村由美子さん(31回)、鈴木亜弓さん(36回)、河田久仁子さん
- ★リユニオンコンサート出演者・23年度小倉麻矢さんより23,041円、24年度Fグループアンサンブルより69,000円

【会長選挙報告】

有効総数(出席 34、委任 63)
 信任 34票、白票 0票、不信任 0票
 新会長として、原田かおりさん(30回)が満場一致にて承認されました。

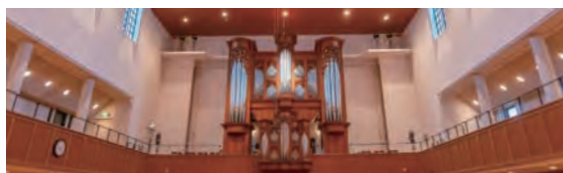
委員長 疋津 遥子 (70回)

役員紹介

会長	☆原田 かおり (30回)
副会長	般若 須美子 (30回)
	☆椎山 まゆり (33回)
書記	小泉 美千代 (44回)
	細貝 文子 (45回)
会計	伊藤 裕子 (27回)
	金子 かおり (36回)
企画	小清水 桃子 (55回)
	北原 葉子 (39回)
	☆廣田 晴美 (53回)
会報	藤原 律子 (47回)
	齊藤 美和子 (46回)
常任A	三上 まり子 (33回)
	☆小林 和子 (34回)
常任B	熊澤 亜里紗 (57回)
	宮本 祥子 (58回)
Web担当	土屋 友紀 (48回)
会計監査	小林 周子 (29回)
	堀内 陽子 (31回)
事務局	金子 明子 (43回)
	栢之間 玲子 (46回)

☆印は今年度新任役員





募集情報

ジョイント コンサート出演者募集

概要 要：毎年10月頃・フェリスホール
募集期間：当年1～2月
応募対象：Fグループ会員
先生・役員の推薦および書類審査あり。

山手の丘の音楽会 vol.16 参加者募集

概要 要：2026年3月27日（金）
募集期間：25年10月10日～12月27日
参加資格：Fグループ会員とそのレッスン生
参加費：12,000円～

リユニオン レッスン受講生募集

〈ヴィオラ・ダ・ガンバ講座〉
概要 要：月1回・火曜・同窓会室
受講資格：Fグループ会員・フェリス卒業生
（要音楽基礎知識）
会費：1回2,500円～ 楽器レンタルあり

〈オルガン講座〉

概要 要：2025年8月27・28日フェリスホール
受講資格：Fグループ会員・リテラ・リベラ・音楽教室オルガン科生
受講料：5,000円～
特別公開レクチャー：1,000円（P20参照）

問い合わせ・申し込みはFグループまで

✉ ferris@fgroup.jp ☎ 045-350-8930

この音楽会は、レッスン生のいらつしやる同窓生が合同で発表会ができれば、との思いで生まれ、回を重ねて参りました。ピアノをはじめ声楽やヴァイオリンの発表の場として、お客様で好評いただいております。響きの良いフェリスホールで演奏することで、音楽に包まれる喜びを感じていただけたら嬉しく思います。生徒さんたち一人一人のひたむきな演奏を皆が温かく見守るこの場を、これからも大切にしたいと考えております。今年度も9月と3月にフェリスホールで開催予定です。ご参加を心よりお待ちしております。

般若 須美子（30回）



山手の丘の音楽会

第13回2024年7月15日

第14回2025年3月27日

フェリスホール



リユニオン レッスン

ヴィオラ・ダ・ガンバ講座
オルガン講座

オルガンとガンバの講座を開講しており、主専攻でなかった方も受講できます。新たに始まったオルガン講座では、初心者から経験者まで計19名の受講生が参加してくださり「ホールのオルガンに触れる日がくると思っていなかったのが感激した」「ピアノとの違いを学べて良かった」など嬉しいお言葉をいただきました。ガンバ講座は月1回3～6声のアンサンブルでルネサンスやバロックの響きを堪能しています。また昨夏にはレクチャーと楽器体験会も開催し、初めての方もたくさんご参加くださいました。今年度もオルガンは夏と春に、ガンバは通年と夏に開講。ご興味のある方は未経験でも遠慮なくご参加ください。

小清水 桃子（55回）
小泉 美千代（44回）

リユニオン コンサート

2025.3.29
フェリスホール



「弦楽合奏の愉しみ ～珠玉の名曲～」と題し、結成35年を迎えるFグループアンサンブルの演奏会を開催いたしました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、200名近いお客様が、芥川也寸志の「弦楽のための三楽章」など、弦楽器のあたたかい音色を堪能されました。アンコールの前には「記念の年に学舎であるフェリスホールにて演奏できたことを嬉しく思う。まだまだこれからも活動をつづけていきたい。」と意欲を語り、盛況のうちに終演となりました。今年度は夏休みに歌とリトミックを融合させた子供向けコンサートを予定。ご来場お待ちしております。

尾見 恵美（45回）

ジョイント コンサート

2024.10.5
フェリスホール

今回も幅広い年代による4組の出演者が素晴らしい演奏を披露してくださいました。前半は、ピアノ独奏



と中部支部のメンバーによるコーラスの演奏。後半では客席の椅子の向きを変え、ホール後方にあるオルガンの方を向きながら、オルガン独奏とオルガン伴奏によるコーラスに耳を傾けました。澄んだ音色が会場を包み込み、音楽の喜びに満ちた演奏会となりました。今年度は10月4日（土）に開催します。ご来場をお待ちしております。

小清水 桃子（55回）

〈2024年度出演者〉

◆中川 美香 org（71回）◆コーロ・フェリーチェ&大橋 多美子 cond（20回）
&河本 加世子 pf（50回）&小池 圭代 sop（59回）◆古崎 京花 pf（72回）
◆女声アンサンブルルーチェ&小泉 ひろし cond &宇内 千晴 org

2025年10月4日（土）14:00～ フェリスホール ジョイントコンサート

【出演者】◆平沼 由季pf（50回）
◆大橋 多美子msop（20回）
& 神戸 樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団
◆女声アンサンブル ミント・フレイバーズ
& 西 由起子cond & 夢沼 明子pf
（P20参照）

2025年8月22日（金）14:00～ フェリスホール

音もだちトラベルで行く「夏の万国博覧船ツアー」
～0歳から大人まで～

【出演者】森永 美穂sop（48回）/尾藤 万希子pf（51回）/
小清水 桃子org（55回）/白木 あいsop/藤井 直美sop/
大槻 孝志ten/向井 育子（リトミック）
（P20参照）

岡崎光子さんを訪ねて

Fグループグッズとして皆様にもお馴染みの愛らしい絵葉書。今回の卒業生便りでは、そんな絵葉書の作者である1960年卒業、岡崎光子さんのお宅に訪問して、お話を伺いました。



その日は少し汗ばむ陽気でした。窓を開けると絵のモチーフとなった庭が。部屋の壁には小さなヴァイオリン。岡崎さんの絵を思い起こさせる風景の中、お話は始まりました。ヴァイオリンを始めたのは小学校低学年の頃。お母さまに連れられて鎌倉から東京の先生のお宅へと通われたそうです。その後、中学、高校、短大とフェリスで学ばれます。「毎朝礼拝を守る意味は、そのころ何もわかっていなかったけれどキリスト教の信仰への種がふんだんにまかれていたように思います。人生の精神的基盤が作られた。長い時間を経て、そう感じます。」今、それが芽を出し育ち始めているそうです。

人生において大きな転機は久保田良作先生との出会い。当時のフェリスでは課外授業や音楽教室で音楽を学ぶ機会に恵まれていたそうです。そこで久保田先生の指導を受け、自分のヴァイオリンが変わったのを感じ、もっともっと先生の元で勉強したいという情熱が短大へと導きました。専攻科へ進んだ年にヴァイオリン科生が5名入学してきたものの、それまでの短大在学中、弦楽器科は岡崎さん一人きり。しかし、一人であることを問題とも感じないほど久保田先生からの学びは奥深いものでした。

短期大学を卒業後は、専攻科を経てフェリス音楽教室のヴァイオリン講師として定年まで40年余り子供たちの指導にあたられました。「音楽教室で私がやって良かったと思うのは弦楽器の合宿。」弦の先生方と始めた合宿は、協力してくれた卒業生、生徒さんたち、皆にとってかけがえのない思い出となりました。「見えない子供たちの部分が見えるよう

になるの。子供ってこんなだよ、ずるをする子もいるし、色んな子がいる。先生と生徒でない楽しい時間の連続でした。皆と過ごせた事がとても楽しかった！」岡崎さんが描かれた絵の子供たちはみんな、生徒さんやお孫さんたち。子供たちそれぞれに、愛を持って接していたことが窺えます。

Fグループ、第一回目のジョイントリサイタルに出演された時は倉長先生からお誘いがあったそうです。学校側も卒業生が世に出る手助けとなるようにと、企画されたようでした。また、現在も活動しているFグループアンサンブル。ここで岡崎さんは創設メンバーとして尽力されます。1990年、時代は短大から大学音楽学部への移行期。弦楽器科が数年なくなる局面となった折、なんとか弦の響きが絶えないようお願い結成されたそうです。「三宅洋一郎先生、田中順先生がご苦勞なさっていた道をつなげたい。自分がやりたいという気持ちよりもフェリスの為に何か・・・そんな僣越な気持ちもあったと思います。諸先生方が築いた鉄橋の柱の一つとなれたらと願って思いついたのが合奏だったの。」こんなことを言うのはおこがましいのだけれど、と遠慮がちにお話くださいました。

最近では礼拝にて、音楽教室の思い出が詰まった《マタイ受難曲》のアリア〈憐みたまえ〉を賛美演奏されたそうです。姪御さんのお子様たちの可愛さを描かずにはいられなかったと始めた絵は、60歳を過ぎてからいただいた神様からのプレゼント、と仰っていました。穏やかでありつつ、時には毅然とお話くださった岡崎さん。最後に「信仰」という言葉を大切に語った姿が印象的でした。素晴らしい先輩に出会えたことへ感謝致します。

おがさみつこ
岡崎 光子 (11回)

短大音楽科ヴァイオリン専攻卒業同専攻科修了



かいゆし
< 牧者わが主 >



< 初めての合奏 >



< 光陰矢の如し >

Fグループ
会報編集

齊藤 美和子 (46回)
藤原 律子 (47回)

フェリス音楽教室

～こどもたちとともに～

創設 70 周年

2025年度生徒募集中

大人向けレッスンも開講中

2歳児から高校生まで

毎週水・土曜日

山手・緑園両キャンパスで授業

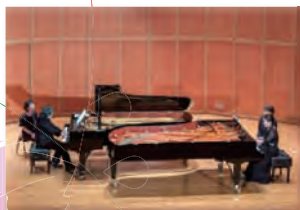
< 山手教室 >

045-212-2396

< 緑園教室 >

045-813-1070

ferrismusicinst.org



山手の丘 メモリーコンサート
宗 施月子先生を偲んで
2025年5月17日
昨年、帰天された宗施月子先生を偲ぶメモリーコンサートを開催いたしました。ご協力頂いた落合先生、お集まりくださった多くの皆様に感謝申し上げます。ソロや連弾そしてデュオといった多彩なピアノ音楽がフェリスホールに響き、それは宗先生の指導の深さを伝える素晴らしいものでした。「先生への想いを胸に、フェリスでのご縁と、卒業後も先生のお人柄に支えられ、ご指導いただいたことに感謝し演奏いたしました。」研鑽を続けた宗先生門下の会の様子も垣間見ることができました。

般若 須美子 (30回)



心をひとつに

いつも同窓会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。新たに 422 名の会員をお迎えして、2025 年度が始動いたしました。

りてらの役員会は審議の場であり、学年幹事会は決議の場となっています。決議機関である幹事会の活性化のために日々努力しています。

そのひとつが決議後に開催する講演会です。昨年の 10 月は前学長で国際交流学部教授の荒井真先生に『訴訟大国アメリカ・訴訟小国日本』というテーマでご講演をいただきました。法律に疎い私のような者にもわかりやすいお話で幹事のみなさまから好評を博しました。

もうひとつが Zoom の導入です。様々なご事情でご来場が難しい方にも幹事会へご参加いただけるようになりました。今後より多くの幹事の方々に Zoom をご利用していただけたらと思います。

今春いよいよグローバル教養学部がスタートいたしました。大学改革により、3 学部（文学部・国際交流学部・音楽学部）が

1 学部統合されました。グローバル教養学部の第 1 期生の方々をお迎えするために、3 つの同窓会（りべるて・F グループ・りてら）はひとつの大学同窓会＝フェリス女学院大学同窓会（仮称）となります。

4 月の臨時幹事会で新同窓会についてご説明するとともに、様々なご意見をお



< カイバーの花束 >



やまがた ゆきこ
会長 山縣 幸子 (1984J)

1984 年 国文学科卒業

1984 年 - 1995 年 設計事務所勤務

聞かせいただきました。5 月の幹事会において新同窓会会則は承認され、来年の 4 月から新しいフェリス女学院大学同窓会が始まります。

6 月の合同総会の司式・説教は元学長で文学部名誉教授の宮坂覺先生にお願いいたしました。他者との共存のツールである言葉。生きた言葉には他者への愛があると語られました。同窓生のつどいでは今年もビンゴ大会を開催。ご来賓の先生方や 80 代の卒業生の方をはじめ、小学生のお嬢さんにもお楽しみいただけた様子でした。



< 宮坂先生 >

今年は大学開学 60 周年。そして、フェリス女学院は 155 周年を迎えます。脈々と受け継がれて来た教育理念『For Others』のもと、私たち 3 つの同窓会は心をひとつにパワーアップして活動して参ります。フェリス女学院大学は永遠に輝き続けると信じています。これからもお力添えをお願いいたします。

◆イラストは同窓生のお嬢さまより



私たちエコキャンパス研究会は、楽しいエコ、そしてフェリス大らしいエコ活動を目指してメンバーそれぞれが新しい企画を持ち寄り、意見を出し合いながら週に一度緑園都市キャンパス内の環境実験室で活動しています。「エコ」や「環境問題」という言葉は日常

キャンパスだより



エコキャンパス研究会
日本語日本文学科 3 年
主将 西山 光穂さん

生活で耳にする機会が多いものの、多くの人にとって身近な存在ではないのが現状です。それは私たちエコキャンのメンバーにとっても同じことでした。だからこそ、どうすれば楽しいエコを実現できるか、どんな企画なら興味を持ってもらえるか、その楽しさをどう学びに繋げるか——昨年は何度も話し合いを重ねました。

そんな中実施した、泉役所地域振興課とのキャンドルナイトイベントや葉山ボンジュールとのコラボパン作りを通して、楽しいエコに向けた一歩を踏み出しました。活動を通して出会った方々から得た学びや気づきを力に変え、今後も私たちらしいエコ活動を大切に育てていきます。



グローバル教養学部の出発にあたって

グローバル教養学部長

うめざき とおる
梅崎 透 教授



2025年4月1日、471名の新入学生を山手のカイパー記念講堂に迎え、新しいグローバル教養学部が船出しました。新学部は国際社会学科、心理コミュニケーション学科、文化表現学科の3学科からなり、それぞれの学科に3年次から進む3専攻が設定されています。フェリスが伝統的に大切にしてきた異文化理解、国際協調、コミュニケーション、音楽といった学問分野に、現代社会において要請される資格やビジネスのスキルを加え、一学部でより有機的な学びを実現するプログラムとなっています。また、これまで同様、所属学科を超えて学びを組み立てることができる自由さを大切にしつつ、今年から新たに音楽を加えた4つの副専攻を用意し、学びをより形にする仕組みを提供します。

18歳人口の減少と、女子大学に対する逆風のなかで、フェリスの価値は一体何なのか、私たちはこれまでどんな卒業生を輩出し、これからさらにどのような知とスキルを育てていくのかという課題に正面から向き合いました。初期構想から数年にわたる議論と準備を経ての新学部開設です。既存の学部の枠組みがなくなるという卒業生にとっては大変複雑な心境が想像されるなか、同窓会の皆様には強い励ましのお言葉をいただき、フェリス女学院大学の未来像をつくるお手伝いをいただきました。心より感謝申し上げます。

新しいグローバル教養学部の発足にあたり、大学では新しいブランドコアを打ち出しました。＜輝く、輝かせる。＞自分が自分らしく輝くことで、誰かの力になることができる卒業生を輩出してきたフェリスの強みを言葉にしたものです。大学入試が一般受験型から指定校推薦や総合選抜型などの年内入試に大きく比重を移すなか、新学部第一期生の多くはフェリスを第一志望として入学しました。そのこともあってか、教室はとても明るい希望にあふれた雰囲気になっています。ぜひキャンパスに足をお運びください。

りてら2024年度決算報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終 身 会 費	13,830,000
り て ら 募 金	155,000
寄 付 金	4,000,000
預 金 利 息	16,631
雑 収 入	0
収 入 小 計	18,001,631
前 年 度 繰 越 金	54,390,965
収 入 合 計	72,392,596

●支出の部(円)

科 目	決 算
総 会 関 連 費	1,209,999
会 報 関 連 費	2,768,751
クリスマスカード費	1,585,639
企 画 費	0
会 議 費	551,940
卒業・入学関連費	961,372
大 学 祭 費	27,449
寄 付 金	1,000,000
学 生 支 援 金	300,000
交 際 費	15,500
会 費	50,000
人 件 費	1,577,370
交 通 費	314,590
通 信 費	243,290
シ ス テ ム 関 連 費	464,322
印 刷 費	7,645
事 務 消 耗 品 費	61,195
手 数 料	9,150
備 品 費	0
雑 費	24,047
予 備 費	153,842
支 出 合 計	11,326,101
次 年 度 繰 越 金	61,066,495
合 計	72,392,596



皆様にお楽しみいただいておりますフェリスグッズですが、その売り上げの用途をご存知でしょうか。
グッズはりてら会員はもちろんのこと、Fグループやリべるで会員様、白菊会会員様、教職員の方々、大学祭での販売においては現役学生から一般のお客様まで広くお買い求めいただいております。その売り上げはりてらの活動資金として使うのではなく、大学へ寄付し学生に還元することが学年幹事会において承認されております。
昨年度は、学生食堂の継続的な運営とメニュー充実のため100万円を寄付いたしました。
これまでもりてらは、「ハンカチの木」植樹(※)やCLA棟の設備充実のための寄付と、学び舎の環境整備に貢献して参りました。皆様のご理解とご支援のほど、これからもよりしくお願い申し上げます。
(※)緑園キャンパスの図書館を強い西日から守るため2006年に植樹されましたが、傷みがひどくなり、残念ながら現在は残っておりません。

寄付報告

りてら募金(追加通信費)のお願い

皆さまのお力添えに心より感謝申し上げます。

りてらの運営はご卒業時に納めていただく皆さまの終身会費で賄われておりますが、諸経費・通信費等の高騰に伴い、「りてら募金」として3,000円の追加通信費への協力をお願いしております。詳しくは公式サイト「寄付のお願い」をご覧ください。

◆ゆうちょ銀行から 記号: 10210 番号: 36524961
フェリス女学院大学同窓会りてら

◆ゆうちょ銀行以外から 店名: ○二八(ゼロニハチ) 店番: 028 普通預金
口座番号: 3652496 フェリス女学院大学同窓会りてら



宮代製茶 茶師
みやしろ ゆりか
宮代 友梨佳さん

自分の家のお茶が大好きなので、それが飲めなくなるのは考えられなかった。



まさか自分が茶業に携わることになるとは、大学生の頃には想像できなかったと思います。地元が好きだった私は、静岡で地域貢献をしたいという理由で地方銀行に就職しました。

その一方で実家では、自園で茶葉の栽培から製造、販売までを一貫して行う家業である茶業の廃業を検討していました。工場でお茶づくりを行う祖父の身体を気遣ってのことでした。また、急須でお茶を淹れる文化も近年薄れつつあり、私達は茶葉の在庫を抱えるようになっていました。「急須で淹れるお茶でしか味わえない美味しさや魅力を広めたい」「自分の家のお茶を飲めなくなるのは嫌だ」と思ったことをきっかけに、私は銀行を退職し、茶業に入りました。

畑違いの茶業を始めた当初、同じ境遇の方が身近にはほとんどいない状態で正直孤独を感じていました。一から関係を築いていくことへの不安が大きかったのですが、実は現在の仕事でのご縁は今までの人生で繋がりがあった方とのものがほとんどです。〈まさかの再会！〉から、昨年のフェリスフェスティバルでは、恩師である上原教授のゼミでお茶の販売を行なわせていただいたり、中学時代からの友人のラーメン屋さんでお茶とラーメンのコラボをしたり、記者になった大学時代の友人に取材をしてもらえたりと、本当に不思議なことに今までのご縁が次の仕事に繋がっていくのです。



ですので、私が仕事に限らず大事にしていることは、人に誠実に向き合うこと、人とのご縁を大切にすることです。卒業から8年経つ今でも、大学時代でお世話になった友人や当時のバイト先の人達などとの交流が続いています。皆さんもその場限りの人間関係で終わらせるのではなく、是非フェリス女学院での出会い一つ一つを大切に未来に繋げていってください。



Ferris Festival 2025

11/3(日)・11/4(月・祝)

今年も上原教授のゼミに出店させていただきます

静岡県沼津市出身、2017年国際交流学科卒業。

大学卒業後は静岡の地方銀行に6年半勤務。

現在は家業である宮代製茶にて日本茶を広める活動や販路開拓に取り組む。

自分の手でお茶をつくりたい思いがあり、2代目の祖父からお茶づくりを勉強中。

ご紹介

会長

山縣 幸子 (1984J) 旧姓:大竹

副会長

島村 直美 (1984J) 旧姓:池谷

藤田 玲子 (1994E) 旧姓:大西

書記

貴田 里砂 (1987E) 旧姓:松田

古谷 ゆかり (1987E) 旧姓:二村

会計

高島 有紀子(1994J) 旧姓:小野

イベント委員長

上原 ふみ (1985E) 旧姓:六田

会計監査

飯田 正子 (1970J) 旧姓:平野

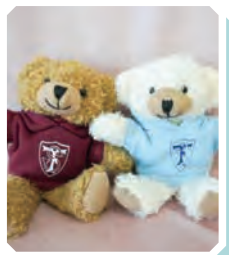
内藤 由美 (1987J) 旧姓:林

事務局

並江 由佑子(2007J)

荒瀬 篤子 (1984J) 旧姓:国領

遠山 かおり(1995J) 旧姓:野地



◆キーチェーンくまちゃん0.7
¥1,800

りてらでは定番のフェリスグッズに加えて、毎年新商品を検討、開発しております。今年はりてらオリジナルデザインの一筆箋を作りました。リーフ柄の縦型とチューリップ柄の横型を作成、各柄ピンク・ブルーの計4種類をご用意しました。一筆箋はしばらく完売していた商品でしたが「ちょっとしたお礼などの際に便利」と人気ですので、今回も皆さまにお使いいただければと思います。

そして今年の卒業式には、マントに角帽、手には学位記を持ったかわいくまちゃんが登場。数量限定でしたので、あっという間に完売。増産できませんか？というお声も。それに加えて、キーチェーンくまちゃんもご用意いたしました。こちら

も完売でございました。今後キーチェーンくまちゃんの方は再販予定です。

新商品のエナメルバッグや学生と共同で開発中のパーカーなど今後も魅力的な商品が続々登場する予定です。詳細はりてら公式サイトからご覧ください。実物は大学祭でお手に取っていただけます。

これからの皆さまにご愛用いただける、フェリスグッズを取り揃えてまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

◆一筆箋 縦・横 各2色展開
¥400/1冊



◆エナメルバッグシャンパンゴールド
＜校章の刺繍入り＞ ¥5,000

グッズNEWS

文学部 60周年を祝うー感謝をとめて



谷 とも子 特任教授

専門は和歌文学。著書に『和歌文学の基礎知識』『古典のすずめ』（角川選書、KADOKAWA）、『ビギナーズ・クラシック』（日本の古典百一人一首（全）』（KADOKAWA）、『百人一首（全）』（KADOKAWA）、『百人一首（全）』（KADOKAWA）（エクスマレッジ）等。

2025年、フェリス女学院大学文学部は60周年を迎えます。60年という重みとともに、その半分以上の年月を本学文学部の教員として過ごしてきたことに、改めて責任の重さと大きな喜びを感じています。

私は、古典文学、特に和歌文学を専門としています。なぜ古典を学ぶのかと聞かれたら、私はよりよく生きるためと答えるでしょう。時代が移り変わっても、人の営みの本質は変わりません。この世に生まれ、様々な教育を受けて、大人になってゆき、ある年齢になったら働き、恋をしたり、結婚したり、様々な人生の重要な決定をします。そして、年老いて、死んでゆくのです。この営みは、いかに人工知能が発達しようと、大きく変わることはないでしょう。また、人間は、文化的な行為を行う存在です。人生の重要な出来事や思考について、日本の古典文学は長い間知恵と力を読者に与え続けてきました。与えられた人生には限りがあります。この人生を、深く、豊かに

生きる道の一つが、古典文学を学ぶことだと私は信じてやみません。

しかし、教育の方法は、時代によって変わつてゆきます。私が教員生活の後半期に力を入れたのは、学生たちによる古典プロジェクトです。そのきっかけは、

本学の「全学教養教育機構（CLA: Center for the Liberal Arts）」の設置に携わり、全学2年生希望者対象の「プロジェクト演習（若者による文化の創造と発信）」を担当することになったことです。この授業は、学外の企業や行政と連携し、社会の課題を解決することを目的としていました。私の授業では、『百人一首』をモチーフにした商品開発を手がけ、和菓子「浜恋路（はまこひたび）」（横浜・香炉庵）、紅茶「かがりびとしらなみ」（シンガポールに拠点を置くプロビドール社「The Providore」）、手ぬぐい「百人一首」（麻布十番・麻の葉）を協同開発、商品化したしました。さらに、『百人一首』をモチーフにした小学校の学校給食にも取り組みました。毎回、多くのメディアに取りあげていただき、取材対応も全て学生が行いました。プロジェクトを実現する過程で大きな力を貸してくださったのが、本学文学部同窓生、りてらの皆様です。紅茶の企画を実現するにあたっては、文学部国文学科（現日本語日文学科）卒業生で、料理研究家として活躍される山田玲子さんが

プロビドール社社長を紹介してくださり、販売された各商品はりてら会長をはじめ多くの卒業生の方々が購入してくださるなど、多大なる支援をしてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

さらに、文学部日本語日文学科の中世文学ゼミでも、古典プロジェクトに積極的に取り組みました。例えば、2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をきっかけにして、ゆかりの人物22人について、生涯、文化事績、史跡をイラストとともに解説する「鎌倉殿・人物ガイドブック」を制作しました。このガイドブックがきっかけとなって、本学は鎌倉市と協定を締結、学生たちが鎌倉市の清泉小学校で出前授業を行うなどの活動も行ないました。2023年度は、井内健太准教授（中古文学）、吉田弥生教授（近世文学）のゼミとともに、イラストとクイズを掲載した「しおり」を制作し、紀伊國



＜紅茶「かがりびとしらなみ」 The Providore 社＞

INFORMATION

◆登録情報変更について◆

住所の変更、ご永眠者の届け出は、メールまたはりてら公式サイトよりお願いします。

◆記事募集◆

『同窓生だより』のコーナーにご寄稿いただける、様々なシーンでご活躍の同窓生をご紹介ください（自薦他薦は問いません）。また、取り上げて欲しい記事などございましたら同窓会室までお知らせください。締め切りは2026年2月末です。

屋書店横浜店（そごう横浜店7F）で、ゼミ生による「百人一首」選書フェアを行いました。こうしたプロジェクトを通じて、社会の評価、フィードバックを受けて、学生たちが大きな成長を遂げたことは一番の成果でした。

フェリス女学院大学文学部は、2025年4月から新しい学部「グローバル教養学部」へと改組を遂げ、さらなる発展の道を歩むこととなりました。私個人はこの3月でいったん定年を迎え、4月からは特任教授として、主に文学部2年生から4年生の学生を対象とした科目を担当します。で、文学部とともに卒業するような気持ちです。これまで文学部が歩んできた60年の道のりが、さらに輝く未来へとつながり、大きな実りとなることを心から願っています。

同窓会支部だより

関西支部



関西支部はオールフェリス同窓会として開催することを今日も継続しています。2024年度総会準備は諸事情により有志を募つての運びとなりました。広い関西圏から一か所に集まるのは時間と費用の掛かることを考慮して、LINEを会議の場とし、作業を分担の上、最終には交通、その他の利便性を計った場所の貸会議室に集まり、同窓会開催への実務を行いました。

2024年度の会報に掲載の通り、11月13日(水)会場は京都建仁寺祇園丸山で開催しました。本学院より白菊会三森杏実会長のご出席をいただき、参加は23名でした。例年、会場を大阪、神戸、京都と巡ること、その都度思いがけない出会いの場となります。今回も関西各地域から久々に参加された方々、京都近郊から4名の初参加があり、オールフェリスならではの同窓会総会になりました。京都老舗の秋を彩る京料理を楽しむ時となり、一同次回大阪での再会を願ひ感謝の内に散会致しました。

関西支部 清水 操 (中高S28卒)

2025年度

関西支部同窓会のご案内
開催日 2025年11月12日(水)
会場 大阪(大阪ステーションホテル)

*関西支部同窓生にはハガキでのご案内いたします。

西南支部

2025年5月28日、フェリス女学院西南支部の同窓会が「レストランひらまつ博多」にて開催されました。山口・福岡・佐賀・熊本から計22名の同窓生が集まり、久しぶりの再会に会場は温かな笑顔と懐かしい話題で包まれました。美味しい食事とともに学生時代の思い出や近況報告に花が咲き、世代を超えて絆が深まりました。また、今後の同窓会運営に関しても活発な意見交換がなされ有意義な会となりました。参加者一同、次回の再会を楽しみにしつつ、名残惜しさの中で閉会となりました。

今回の同窓会開催にあたり、初めての試みとして、LINEやGoogleフォームを利用したオンラインでの参加者募集を行いました。初挑戦にもかかわらず、多くの皆さまのご協力のおかげでスムーズに集約が進んだ一方で、オンラインの形式に馴染みにくい方も一定数いらっしゃいます。どなたでも気軽にご参加いただける環境づくりにはさらなる改善が必要と感じ、今後の課題となりました。同窓会の写真を西南支部のグループLINEで共有しましたので、参加がかなわなかった同窓生にも、当日の温かな雰囲気伝わったことを期待します。

次回の開催は2026年5月27日です。

内野 朗子 (2002E)

フェリス白菊会

中学高等学校同窓会

主の御名を賛美致します。

フェリス白菊会の総会は6月7日(土)に行われました。前校長廣瀬政明先生による「フェリスの歩み」というタイトルで講演して頂きました。

12月6日(土)クリスマス礼拝終了後、ALL FERRISで歌う第九の合唱がございました。皆様のご参加をお待ちしております。

フェリス白菊会会長 三森 杏実

ALL FERRIS で歌う第九

フェリス女学院は2025年、創立155周年を迎えました。皆様で「第九」を歌いませんか？

【本番日】2025年12月6日(土)

白菊会クリスマス礼拝終了後

【参加費】練習1回につき1,000円(楽譜代:500円)

【練習日】各月土曜1回 10:00~11:30

月曜1回 13:30~15:00

【練習場所】土曜:フェリス女学院中高2号館3階大教室

月曜:フェリス女学院6号館606教室

【主催】フェリス白菊会

045-641-5200

(火・木10:00~16:00)

詳細日程は白菊会HP またはコチラ→



りべるて

旧短期大学家政科同窓会

りてら・Fグループの皆様、日頃より「りべるて」の活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

「りべるて」としての活動は今年度をもちまして終了いたします。

1988年3月に家政科は発展改組となりDクラブの名称を同窓生の投票により「りべるて」とし、37年活動を続けてまいりましたが、諸般の事情により今後の活動は続けられないと判断いたしました。

今年度は「家政科の成り立ちと同窓会の変遷」と題する記念誌を作成し、同窓生に配布致します。

短期大学家政科の卒業を誇りに思う同窓生は「りべるて」が閉じてもこの記念誌とともにこれからも活躍することと信じております。

りべるて会長 金子 和恵



りべるて寄贈
山手150周年記念館の『時計台』

永 眠 者(お届けのあった方)

佐竹 明名誉教授(元学長) 2024.10.21
川又 志朗先生 2025. 4. 8

F グループ

木原 文代姉 (青山) 5 回 2024. 4. 3
岩瀬 洋子姉 (清水) 6 回 2025. 5.17
脇村 治子姉 (木庭) 29 回

りてら

山口 貞子姉 (田邊) 1950E 2024. 1.16
芦澤 芳枝姉 (松村) 1950E 2025. 4.22
井上 光姉 (石島) 1950E 2025. 1.11
田代 紀子姉 (鶴田) 1951E 2024. 6.29
上坂 佐恵子姉 (村上) 1951E 2024. 9.24
絹川 洋子姉 (岡根) 1955E 2024. 9. 3
岡田 正代姉 (山根) 1955E 2024.12. 2
田村 洸子姉 (北川) 1955E 2024.11.26
高橋 淑子姉 (上泉) 1956E 2019. 5.25
片桐 房子姉 (中西) 1958E 2024. 6.21
平栗 美和子姉 (佐野) 1959E 2024. 7.26
水越 通姉 (黒田) 1960E 2024.10.30
今西 広子姉 (森岡) 1963E 2024.11.27
西谷 宣子姉 (太田) 1965E 2024. 4.27
池田 栄子姉 (杉崎) 1966E 2022.10.30
加藤 恵子姉 (一丸) 1968E 2020. 7.13
山田 晴美姉 (中山) 1968E 2023.12.11
青木 雅美姉 1970E 2024.10. 2
森口 庸子姉 (萩原) 1973E 2024. 5.22
牧野 妙子姉 (松江) 1974J 2024.11.27
市村 久美子姉 1982J 2012. 3. 1
南 万里姉 (三輪) 1983E 2024.12.14
井沼 伸子姉 (天野) 1983J 2024. 4. 2
江頭 華織姉 1988J 2024. 4. 7
池田 伊津美姉 1999S 2024.12. 2

同窓会は 海外にもあります



ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
TEL 212-675-3840

ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
TEL 808-735-1296
FAX 808-735-1579

カリフォルニア事務所

川上裕子(高等部 S47 卒)
TEL. 858-945-2352
Email yuko@lji.org

2024年度 フェリス女学院 中高・大学同窓会 会計報告 (2024年4月1日～2025年3月31日)



		(単位:円)
前年度繰越金(2024年4月1日)		2,081,357
収 入	同窓会連絡会 維持費	200,000
	白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各 ¥50,000×4	
	利息 2024年8月	144
	利息 2025年2月	894
小 計		201,038
収 入 合 計		2,282,395
支 出	関西支部総会 お祝金 ¥20,000	
	参加費 ¥17,000	76,940
	交通費 ¥39,940	
	クリスマス礼拝経費 (含 ATM手数料・コピー代)	117,900
支 出 合 計		194,840
残 金		¥ 2,087,555

以上の通りご報告いたします。
2025年4月1日

フェリス白菊会 三森 杏実

2024年度残金	2,087,555
通帳解約時利息(2025年4月24日解約)	547
金種指定手数料	-770
白菊会・りべるて・りてら・Fグループへ返金 ¥521,833×4	-2,087,332
残 金 合 計	0
残 金	¥ 0

協議の上、上記残金を四同窓会で等分し、各同窓会に返金致しました。
2025年4月24日

フェリス女学院同窓会連絡会



フェリス女学院歴史資料館
開館日: 月～金曜日(除: 祝日、学院の休日)
時 間: 10時～16時
担 当: 渡邊(97日文卒)、山口
T E L: 045-662-4411
m a i l: archives@ferris.ac.jp

フェリス女学院歴史資料館ではグラフィックや資料の展示、映像や写真を通して150年のフェリスの歩みを紹介しています。大学・短期大学の同窓生からご寄贈いただいた卒業記念品なども展示しています。皆様のご来館をお待ちしております。また、フェリスに関する品をお持ちの方はぜひ資料館にご寄贈くださいますようお願いいたします。

歴史資料館からのお願い

フェリスグッズコレクション

りてら

■キーチェーン
くまちゃん 0.7



¥1,800

■マルットサーモ
タンブラー



¥2,500

■フルトガK S
(3色展開)



各色 ¥650

学校生活の思い出に。同窓生へのお土産に。受験勉強のお守りに。様々なシーンでお手に取って頂いているりてらによるフェリスグッズ。校内はもちろん各イベントや通販でも買い求めいただけます！

◆お値段は税込み◆『キーチェーンくまちゃん』はパーカー2色・本体2色の計4種のみ通販取り扱い品です◆学位授与式で販売されたキーチェーンくまちゃん 0.5より少し大きいサイズです◆タンブラーは竹製の蓋の付いた真空二重カップで水滴が付かないので特に冷たいものを召し上がるときに大変オススメです◆フルトガKSシリーズのシャープペンは滑らかな書き心地で長時間でも疲れないと学生からも大好評！

F グループ

■F グループオリジナルグッズ
各種 ¥500



★クリアファイル
A4 サイズ 2 枚組
A5 サイズ 2 枚組

★絵葉書
クリスマスシリーズ 6 枚入り
音楽のある風景 6 枚入り

◆今年度オリジナルグッズの売り上げは全てフェリスホール音響照明設備改修の為に寄付いたします。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

上記グッズのお申し込みは
F グループまで→



本誌紹介のグッズの他、りてらでは様々なフェリスグッズを販売中。お申し込みはりてら公式サイトグッズページまで→



フェリス女学院大学音楽学部主催

オルガンコンサート「オルガンとその仲間たち」

2025年9月15日(月・祝) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール【入場料】一般 2,000 円、卒業生 1,000 円
【出演】宇内千晴・早川幸子・三浦はつみ org ほか

チャペルコンサート IV「モーツァルト！モーツァルト！」

2025年10月10日(金) 18:00開場/18:30開演 (19:30終演予定)
【会場】緑園チャペル【入場料】一般・卒業生 500 円
【出演】菊地理恵・鶴田枝里 vn、伊藤温佳 vc、石津さくら cb
跡見ひなの sop、落合敦 pf、中川美香・檜山結華 org

メサイア演奏会

2026年2月11日(水・祝) 15:30開場/16:00開演
【会場】フェリスホール【入場料】一般 2,000 円、卒業生 1,000 円
【出演】星野聡(指揮)、フェリス女学院大学音楽学部合唱団ほか

演奏会室

ご予約：https://ferrismusic.official.ec/
ご予約・詳細・その他の公演情報は QR コード→
《コンサート・イベント情報》へ



同窓会 F グループ主催

リユニオン・レッスン特別公開レクチャー「オルガン大好き」

2025年8月27日(木) 9:40開場/10:00開始
【会場】フェリスホール【入場料】一般 1,500 円、F グループ 1,000 円
【内容】音色や仕組みの紹介そして演奏。オルガンの魅力満載です。

音もだちトラベルで行く「万国博覧船ツアー」～0歳から大人まで～

2025年8月22日(金) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール
【入場料】大人 2,500 円、小人 1,000 円、
親子ペア(大人&3歳未満) 3,000 円
【内容】子どもたちに美しい生の音楽をお贈りします。

ジョイント コンサート

2025年10月4日(土) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール【入場料】2,000 円
【曲目】パーセル：ファンタジア / チルコット：ジャズ・ミサ /
ブラームス：ピアノ小曲集 ほか

フェリスホールのための募金コンサート

2026年3月28日(土) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール【入場料】3,000 円、寄付つき 5,000 円
【内容】J. S. バッハ：パッサカリア / G. F. ヘンデル：『メサイア』より
「主は永遠にいたもう」ほか。ピアノ、声楽、弦楽そしてオルガンによるフェリスホールのためのガラコンサート。フェリスの音楽が世代を超えて集います。

音楽学部同窓会 F グループ

電話：045-350-8930 (木曜 11:00～17:00)
メール：ferris@fgroup.jp



Ferris Festival — Sparkle —

今年度のテーマは『Sparkle』。
「学生やお客様一人一人が輝き、華やかで活気に満ちた大学祭にしたい」という大学祭実行委員の皆さんの思いがこめられています。
皆さまのお越しをお待ちしております

◆ 2025 年度大学祭のおしらせ ◆

日時：2025 年 11 月 2 日 (日)・11 月 3 日 (月・祝)
場所：緑園キャンパス

りてらのフェリスグッズショップではウワサの新商品から定番のあの商品までバラエティゆたかにご用意！
同窓生サロンを併設。両日ともに 15 時ごろまでです。

フェリス女学院大学同窓会 クリスマス礼拝

2025 年 12 月 3 日 (水) 11:00～
フェリスホール (山手町 52 番地)

説教：秋岡 陽 学院長
奏楽：八代 紀子 (F グループ 48 回)

今年のクリスマス礼拝はこれまでと少し趣を変えて、フェリスホールで行われます。礼拝は、天から降り注ぐように響く、美しいパイプオルガンの音に包まれて始まります。
神様のひとり子イエス・キリストの誕生を喜び祝うクリスマス礼拝が、共に賛美し、聖書の御言葉を聴き、祈りを合わせる心豊かなひと時となりますように。同窓生の皆様とクリスマスにフェリスホールにてお目にかかれまことを、心より楽しみにお待ちしております。

2024 年クリスマス礼拝での献金総額 340,000 円。
日本ユニセフ協会、日本キリスト教海外医療協力会、
難民を助ける会、社会福祉法人日本医療伝道会に
各 85,000 円寄付いたしました。



フェリス女学院大学同窓会会報

2025 年 8 月発行
発行所：F グループ・りてら
印刷：東洋信号通信社

編集者

山縣 幸子	(1984J)
貴田 里砂	(1987E)
古谷 ゆかり	(1987E)
佐藤 千代	(1989E)
藤田 玲子	(1994E)
遠山 かおり	(1995J)
並江 由佑子	(2007J)
原田 かおり	(30 回)
般若 須美子	(30 回)
椎山 まゆり	(33 回)
金子 明子	(43 回)
齊藤 美和子	(46 回)
藤原 律子	(47 回)

F グループ

開 室：木曜日 11 時～17 時
(大学の夏・冬期休暇中は閉室)

住 所：231-0862 横浜市中区山手町 68
フェリス女学院 150 周年記念館

T E L：045-350-8930
U R L：https://fgroup.jp
E m a i l：ferris@fgroup.jp

◆住所等の変更、慶弔、同窓生や先生方の情報をお寄せください。
◆同窓生照会・校章使用申請・演奏会後援申請

同窓会りてら

開 室：毎週火曜日・木曜日 10 時～16 時
(大学の夏・冬期休暇中は閉室)

住 所：231-0862 横浜市中区山手町 68
フェリス女学院 150 周年記念館

TEL/FAX：045-228-7556
U R L：https://littera.gr.jp
E m a i l：info@littera.gr.jp

◆住所変更やグッズ購入、サポーター登録など同窓会へのお申込み、お問合せには、公式サイトの利用が便利です。QR コードよりアクセスください。